**政府間対話「ＧＡＰ／ＧＰＰ」を活用した環境ビジネスマッチングについて**

**１．目的**

経済産業省技術協力課では、タイ、ベトナム、インドネシア及びマレーシアとの間で、政府間対話（ＧＡＰ／ＧＰＰと言います）を進めており、環境ビジネスの分野における日本企業と海外企業のビジネスマッチングの場作りに取り組んでいます。

　　つきましては、上記の国々に環境関連製品・サービスのＰＲを行い、ビジネスマッチングをご希望の方は別添の「技術シート」にご記入の上、九州経済産業局環境対策課まで送付頂きたく宜しくお願いします。

**２．ビジネスマッチングの進め方**

（１）海外での環境ビジネスに関心のある企業の製品等情報の収集（別添様式「技術シート」に記入）。

（２）ＧＡＰ／ＧＰＰの参加国の政府機関又は現地業界団体を通じて、現地企業に対して技術情報シートを提供し、関心技術を特定してもらう。

（３）現地企業からの関心が高い技術を有する日本企業については、地方経済産業局を通じて、現地企業の連絡先情報を提供。

（４）日本の技術に関心を示した現地企業を日本での研修（企業視察等）や現地セミナーに参加させ、日本の技術紹介や商談の場を設ける。

**３．技術シートの提出方法**

　ご記入済みの「技術シート」は、**4月15日（月）**までに、以下のＦＡＸ番号あてにＦＡＸください。

（必要に応じて、こちらからご連絡させていただく場合がございます）

**ＦＡＸ番号：０９２－４８２－５５５４　（送付先：九州経済産業局環境対策課　本多あて）**

**４．ご参考（国別の進捗状況と今後の進め方（詳細は別添パワーポイント資料参照））**

**（１）タイ**

　タイ工業省がエコシティ（環境配慮型工業団地）構想を推進中であり、構想を具体化するための技術が必要とされている。例えば、工業団地の排水処理等、工業団地で活用できる技術を募集。技術紹介の方法は工業省とのＧＰＰ政策対話（７～９月頃開催予定）で議論する。

**（２）ベトナム**

　ベトナム天然資源環境省（ＭＯＮＲＥ）が公害防止管理者制度（水質分野）を改正環境保護法に盛り込む予定であり（１２月までに改正案作成）、制度遵守のための環境技術が必要とされる。

ベトナム環境産業協会という業界団体と共催で平成２３年２月にハノイで排水処理技術のマッチングセミナーを開催した実績を生かし、ハノイでは“排水処理”、ホーチミンでは“廃棄物処理”技術に関するセミナー開催を予定。ＭＯＮＲＥとのＧＡＰ政策対話は６～７月開催予定。セミナーは秋以降の開催を目指す。

**（３）インドネシア**

　インドネシア工業省が環境設備を導入する現地企業に対する補助金制度を実施中。工業省と現地企業とのコネクションは強くないため、ビジネスマッチングを実施するための協力機関（業界団体のようなところ）を発掘する必要がある。現時点の候補はインドネシア商工会議所（ＫＡＤＩＮ）とインドネシア衛生環境工学協会（ＩＡＴＰＩ）。７月以降に現地調査をかねて協力機関との関係構築を図る。技術紹介の方法については工業省及びカウンターパートと議論する。

**（４）マレーシア**

　５月上旬をめどにマレーシア経済企画庁とのＧＰＰ政策対話を開催し、ビジネスマッチングの具体的な方法について議論。そのタイミングで可能な限り具体的な技術情報を提示し、マレーシア側のイメージを作る。先方とイメージが共有できたら、秋頃をめどに本邦研修又は現地セミナーにおいて技術紹介の場を設ける。

|  |
| --- |
| **【本件問い合わせ先】**  　九州経済産業局環境対策課　担当：本多　〔Tel〕092-482-5499 / 〔Fax〕092-482-5554 |